

新学期が始まり、新たな授業が始まりました。

今学期取ったのは Anthropology(人間行動社会学/進化心理学のような分野)、Media art、Math(二次関数)、Music のクラスです。

座学のクラスはどちらも前学期からレベルを上げたのでより難しく興味深いです。特に Anthropology(人間行動社会学)は実際の研究やレポートなどを読むので難しい単語が盛りだくさんです。しかし、好きな分野で授業内容も面白いため、毎回必死ながらも楽しく受けられています。Media art はフォトショップでの編集やアニメーション、暖かくなってきてからは外で写真を撮るそうです。Math はすでに日本で行った範囲なので、復習のような遊びのような感覚で楽しくすらすら解くことができます。Music は主にギター、ウクレレを日常的に用いながら音楽の基礎を学び、グループや個人の音楽制作や発表を通して音楽に触れる授業です。この授業で人生で初めてギターとウクレレに触っていますが、難しくも楽しく練習ができています。こんな感じで二学期目が始まりましたが、友達とも変わらず楽しく毎日を過ごすことができます。英語についてはまだまだ足りないと感じ、壁にぶつかることもあります。成長したと感じる面においては、人との関りに以前よりもためらいがなくなっていると感じています。とりあえず話してみる、表現が分からないとしても勢いでやってみるが身につけてきました。また、自分の身の丈を理解できるようになったようにも感じ、いい意味であきらめがつけるようにもなりました。この気持ちが人との関りや、物事への向き合い方に反映されているなど最近感じます。

今月は一時的に別のファミリーの家にステイしていたのですが、そのお家は元々ファームをしており、敷地が広大で常に緑に囲まれていました。その家には犬と猫が一匹ずついて、猫とはいい友達になることができました。犬はまだ難しかったです。また、お家にいるホストは主にマザーのみだったのですが、ホストマザーともとてもいい関係を築くことができました。何かについて深く掘り下げて考えることがお互いに好きで、学校にいる以外の時間は本当にたくさん話をしました。またホストマザーも私と同じ17歳の時にアルゼンチンに留学を経験したことがあり、とても気持ちを分かってくれました。会話の最中の言葉についての指摘や、新しい言い回しを教えてくれ、いい勉強にもなりました。また、元々ファームだった敷地を囲むように林があるのですが、そこに散歩用の道があり、一緒に犬を連れてスノーシューイングに行きました。冬の静かな林の中はとても気持ちが落ち着き心地よく、いい運動にもなりました。

このステイを経験して自分の心のより所が一つ増えたことによって、もともとのホストファミリーに依存していた気持ちが解消されて、彼らともよい関係を築けていけるようになったとも感じます。私のホストは兄弟が多く、皆それぞれ仕事などで忙しいことから、話す時間も多くはなく、事情が分かりながらも自分にかまって欲しいと、もやもやする時期があったのですが、その気持ちが随分と軽くなりました。

気持ちが入れ替わったことで以前よりもポジティブになれていると感じます。この調子で残りの生活も楽しめるように行動していきます。

写真はスノーシューイングの最中に見つけた木です。実はビーバーが木を倒そうとして前歯で削ったもので、周りにあと3本ほどおなじ状態の木がありました。これこそカナダの自然の中でしか体験できないと感じ感動しました。

白鷗高校14期生 次世代リーダー育成道場10期生 K・S

